

言者ムハンマドの存命期とその後の第一世代の間に、彼の予言は、知られ、されているだけでも、少なくとも160に上ります。[\[1\]](#)

ここでは、その内の一部を取り上げるだけに留めます：

(1) 言者ムハンマドがバドルの役に先けて、マッカの不信者たちからなる各士の死する所を的に言い当てたこと。バドルの役は西暦623年、ムスリムたちがマッカからマディナへと移住した翌年に起きた、マッカの不信者たちとの最初の重大な戦いでした。[\[2\]](#)

(2) 「部族合戦の役」が、クライシュ族（マッカの不信者たち）からムスリムたちへと向けられる最後の軍事的征伐となることを予言。この戦いは626年、ムスリムたちがマッカからマディナへと移住してから5年目に起き、そして事実上これが、この後の最後の軍事的衝突となりました。そしてその数年、全マッカ市民はイスラムを受容することになります。[\[3\]](#)

(3)

言者ムハンマドがその娘ファティマに、彼女が彼の没後、彼の家族で最初に死ぬであろうことを予言したこと。この中には2つの予言が含まれています：つまりファティマがその父よりも長く生きることと、彼女が彼の没後、彼の家族で最初に死ぬ者となることです。そしてそのいずれも、彼女が死ななりました。[\[4\]](#)

(4) 彼の死後にエルサレムが占められるという予言。[\[5\]](#)

。この予言はブリタニカ百科事典によれば、638年にムスリムのカリフであったウマルがエルサレム入城した際に、これを成し遂げました。[\[6\]](#)

(5) ペルシャ征服の予言。[\[7\]](#)

。これは、ウマルの指令官サアド・ブン・アビ・ワッカスによってなされました。ブリタニカ百科事典には、こうあります：

「…マディナにおけるムハンマドのカリフ、あるいは代理人であるアブ・バクルとウマル・ブン・アル＝ハッターブによって、ササン朝ペルシャ領への攻めが迅速に行なわれました…。636年から637年にかけてのカディシヤでのアラブの勝利に続き、ティグリスにおけるササン朝ペルシャの冬の首都クテシフォンが略されます。そして642年のニハヴァン

アイルズ アッ=ダイラミ によって されていま[17]

またその他にも更に、最 の に して が待たれている、少なくとも28の予言があります。

これら信 性の高い による予言の数々は、ムハンマド（彼に神からの祝福と平安あれ）の言者性に する明白な です。これらの出来事に する知 は、神による 示以外のものをもって彼が 得出来たようなものではありません。そしてその全ては、ムハンマドが 欺 などではなく、むしろ人 を地 の 火から救い出すために神から遣わされたのだ、という彼の信 性を 明 するためのものだったのです。

Footnotes:

[1] Dr. Muhammad Wali-ullah al-Nadavi in his Master' s thesis entitled, 'Nubuwwat al-Rasul,' from al-Azhar University, Cairo, Egypt.

[2] *Saheeh Muslim*, Abu Ya' la.

[3] *Saheeh Al-Bukhari, Bazzar, and Haithami.*

[4] Imam al-Nawawi 'Sharh' *Saheeh Muslim,* .

[5] *Saheeh Al-Bukhari*

[6] "Jerusalem." Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Service. (<http://www.britannica.com/eb/article-61909>)

[7] *Saheeh Muslim.*

[8] “Iran.” Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Service.
(<http://www.britannica.com/eb/article-32160>)

[9] *Saheeh Muslim.*

[10] “Egypt.” Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Ser
(<http://www.britannica.com/eb/article-22358>)

[11] *Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.*

[12] *Ibn Kathir’s ‘al-Bidaya wal-Nihaya.’*

[13] *Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.*

[14] *Ibn Kathir’s ‘al-Bidaya wal-Nihaya.’*

[15] *Saheeh Al-Bukhari, Saheeh Muslim.*

[16] *Saheeh Al-Bukhari.*

[17] Encyclopedia of Islam.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/379>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。